



Rあ〜る

かわにし

vol.6

編集・発行/
川西市環境事業部環境推進室
ごみ減量とリサイクル推進課
〒666-0011・川西市出在家町1番11号
TEL/072-759-4240
FAX/072-757-0904

ごみの元をたどれば、すべてが地球上のあらゆる資源を消費することにつながっています。また、ごみを処理するためには石油などの天然エネルギーを消費することになり、環境にも負荷を与えます。

このまま大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済活動を継続していくことは、自然が修復できる限度を超えて、限りある資源を使い尽くすことになり、最終処分場の残余地が残り少ないということや処理費用がかさむなど、地球環境問題のほかに地球環境問題と絡み合い、大変深刻な状況になっていきます。

今後は、このようなことへの反省に立ち、適量生産・適量消費・適正廃棄をめざして、循環型社会をつくっていかなくてはなりません。

そのためには、市民の皆さん、事業者の皆さんのごみ減量への協力が必要です。

ごみの問題は、最終処分場の残余地が残り少ないということや処理費用がかさむなど、地球環境問題のほかに地球環境問題と絡み合い、大変深刻な状況になっていきます。

今後は、このようなことへの反省に立ち、適量生産・適量消費・適正廃棄をめざして、循環型社会をつくっていかなくてはなりません。

そのためには、市民の皆さん、事業者の皆さんのごみ減量への協力が必要です。

資源の循環型社会をめざして

ごみの量は、地球資源の消費量



(ハイムン作「ゴミク魔貴物」日報出版より転載)

ごみの減量 川西市の目標

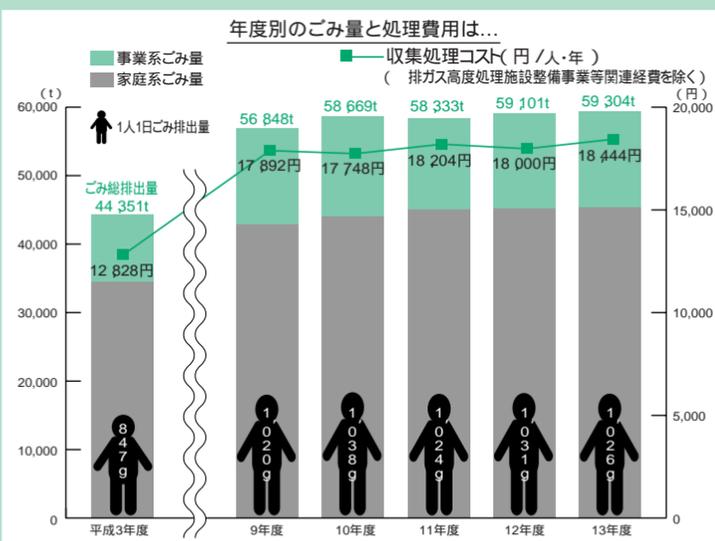
1人1日100グラム減量

平成10年度の数值
(1人1日1038g・リサイクル率11.5%)
よりも

排出量を
10%減量

リサイクル率を
25%に

平成21年度までの目標値



川西市のごみ処理費用は1人当たり18,444円に

13年度の総ごみ量は、59,304tと、10年前の3年度に比べ34%増えています。また、13年度の事業系ごみ量は13,921tで10年前と比べると42%増えています。

ごみ処理に掛かる費用は、13年度で市一般会計歳出の6.2%、約29億2千万円に。市民1人当たり18,444円に換算すると18,444円になります。何気なく出すごみにも大きな経費が掛かっています。

ビンや缶など、市で資源としてリサイクルしているものは全体の15.7%。再生資源にできるものをしっかりと分別し、リサイクルすることが減量化になり、経費の節減にもつながります。

① 1人1日100グラムごみ減量 スローガン募集

市が実施するごみ減量のキャンペーンや啓発活動で市民の皆さんに分かりやすく働きかける“合い言葉(スローガン)”を募集します。

② リサイクルトイレットペーパー愛称募集

市では、13年度から市庁舎で発生する廃棄文書をリサイクルしたトイレットペーパーを使用しています。リサイクルトイレットペーパーは市のフリーマーケットの景品や古紙の集団回収を実施する地域への配付などにも活用しています。親しみの持てる愛称をお待ちしています。



応募方法

対象は市内在住か在勤、在学の人。
ハガキに「スローガン」か「トイレットペーパー愛称」と明記の上(両方可)作品(未発表のものに限る)と簡単な説明、住所、氏名、フリガナ、年齢、電話番号、勤務先が学校名を書き、15年1月6日(消印有効)までに〒666-0011・出在家町1ノ11のごみ減量とリサイクル推進課へ。採用者には1月下旬に郵送で通知し、5千円分の図書券とリサイクルトイレットペーパー1年分を差し上げます。